

改正 平成 26 年 9 月 17 日 原規技発第 1409172 号 原子力規制委員会決定

原子力発電所の竜巻影響評価ガイド（原規技発第 13061911 号）の一部を次のように改正する。

平成 26 年 9 月 17 日

原子力規制委員会

原子力発電所の竜巻影響評価ガイドの一部改正について

原子力発電所の竜巻影響評価ガイドを別添新旧対照表のように改正する。

附 則

この規程は、平成 26 年 9 月 17 日より施行する。

原子力発電所の竜巻影響評価ガイドの一部改正について 新旧対照表（下線部は改正部分）

○原子力発電所の竜巻影響評価ガイド（制定 平成25年6月19日 原規技発第13061911号 原子力規制委員会決定）

原子力発電所の竜巻影響評価ガイド（改正後）						原子力発電所の竜巻影響評価ガイド（現行）					
解説 4.3.1.3.3 設計飛来物の速度の設定 (1) 基本的な考え方 (略) (2) 設計飛来物の設定例 設計飛来物の選定あるいは設定、並びに設計飛来物の最大速度を設定する際の参考として、解説表 4.1 に飛来物及びその最大速度の設定例を示す。解説表 4.1 の棒状物、板状物及び塊状物の最大水平速度(MV_{Hmax})は、設計竜巻の最大風速(V_D)=100(m/s)とした条件下で解析的に算定した結果 ^(※3) である。また、解説表 4.1 の最大鉛直速度(MV_{Vmax})は、米国 NRC の基準類 ^(※4) を参考として設定した(4.3)式を用いて算定した結果である。 なお、解説表 4.1 に示した飛来物よりも小さな開口部を飛来物が通過することの影響等を確認する場合は、さらに小さな飛来物を設定する必要がある。						解説 4.3.1.3.3 設計飛来物の速度の設定 (1) 基本的な考え方 (略) (2) 設計飛来物の設定例 設計飛来物の選定あるいは設定、並びに設計飛来物の最大速度を設定する際の参考として、解説表 4.1 に飛来物及びその最大速度の設定例を示す。解説表 4.1 の棒状物、板状物及び塊状物の最大水平速度(MV_{Hmax})は、設計竜巻の最大風速(V_D)=100(m/s)とした条件下で解析的に算定した結果 ^(※3) である。また、解説表 4.1 の最大鉛直速度(MV_{Vmax})は、米国 NRC の基準類 ^(※4) を参考として設定した(4.3)式を用いて算定した結果である。 なお、解説表 4.1 に示した飛来物よりも小さな開口部を飛来物が通過することの影響等を確認する場合は、さらに小さな飛来物を設定する必要がある。					
解説表 4.1 飛来物及び最大速度の設定例 ($V_D=100(m/s)$ の場合)						解説表 4.1 飛来物及び最大速度の設定例 ($V_D=100(m/s)$ の場合)					
飛来物の種類	棒状物		板状物	塊状物		飛来物の種類	棒状物		板状物	塊状物	
	鋼製パイプ	鋼製材	コンクリート板	コンテナ	トラック		鋼製パイプ	鋼製材	コンクリート板	コンテナ	トラック
サイズ (m)	長さ×直径 2×0.05	長さ×幅×奥行 4.2×0.3×0.2	長さ×幅×厚さ 1.5×1×0.15	長さ×幅×奥行 2.4×2.6×6	長さ×幅×奥行 5×1.9×1.3	サイズ (m)	長さ×直径 2×0.05	長さ×幅×奥行 4.2×0.3×0.2	長さ×幅×厚さ 1.5×1×0.15	長さ×幅×奥行 2.4×2.6×6	長さ×幅×奥行 5×1.9×1.3
質量 (kg)	8.4	135	540	2300	4750	質量 (kg)	8.4	135	540	2300	4750
最大水平速度 MV_{Hmax} (m/s)	49	<u>51</u>	30	60	34	最大水平速度 MV_{Hmax} (m/s)	49	<u>57</u>	30	60	34
最大鉛直速度 MV_{Vmax} (m/s)	33	<u>34</u>	20	40	23	最大鉛直速度 MV_{Vmax} (m/s)	33	<u>38</u>	20	40	23